

高経大 プラス 高経附

コラボゼミ成果発表会

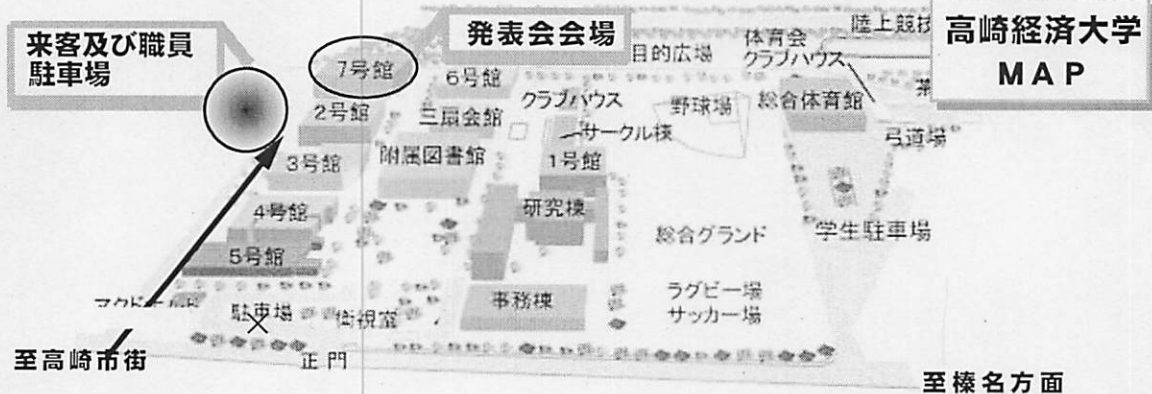
「3年文系オナークラス」の集大成

3年文系オナークラス（3年1組）の生徒が半年間高経大生とともに学んできた「コラボゼミ」での成果を発表します。観覧は自由です。ぜひ高経附生のがんばりを見に来てください。

- 日時 平成25年9月14日（土）
受付 13:00～13:25
発表会 13:30～16:00
- 会場 高崎経済大学 7号館731教室
(高崎市上並榎町1300番地)
- 駐車場 7号館近くの駐車場（約200台収容可）
(会場、駐車場とも下地図を参照ください)

※3年文系オナークラスのコラボゼミとは

3年文系オナークラス（3年1組）と高崎経済大学経済学部矢野修一教授のゼミ生（大学3年生）と一緒に学ぶゼミナールです。月に2回程、高崎経済大学を訪れ、6班に分かれ、大学生とともに「日本企業の海外戦略」について学びます。8月には調べた企業を訪問しインタビューを行います。（『SCHOOL GUIDANCE 2013』p3参照）



問い合わせ

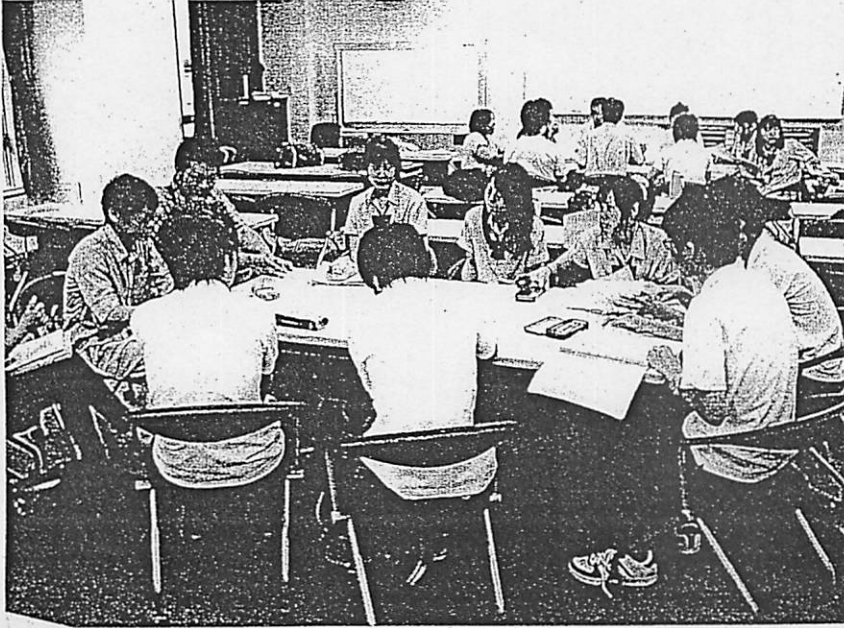
高崎市立高崎経済大学附属高等学校 高大連携課 027-344-1230

少人数ゼミ 高校でも

大学のゼミ形式の授業を高校でも取り入れる動きが広がり始めた。成果発表に向けて少人数で取り組む研究を通じ、論理的な思考力やプレゼンテーション能力などを育てるの

論理的思考、プレゼン能力育成

が狙い。大学との合同ゼミを企画し、進学への意欲を高めようとする学校もある。詰め込み型教育と二線を画した試みに、教育関係者や保護者らの注目が集まっている。



大学生との交流や大学施設を体験できるゼミへの参加で、進学に向けた生徒のやる気を引き出す取り組みもある。高崎経済大学付属高校（群馬県高崎市）は4年前から、高校3年生を対象に、同大経済学部の矢野修一教授のゼミと合同で「高大コラボゼミ」を開く。月2回のゼミでは、3年生約40人がバスで同大に移動。大学3年生と一緒に、日本企業の海外戦略や為替レートを研究する。

6月4日のゼミでは、高校生が経済指標を参考に6

※ ※

背景に文科省の専門家養成事業

高校による少人数ゼミなどに充てられる。初年の採用を後押ししているのが、文部科学省が20年度201校まで増加。02年に導入したスーパーサイエンスハイスクールの事業だ。科学技術分野の専門家の養成を目的し、指定した高校に対して1校当たり年間で最大1600万円の補助金を支給している。

物理、化学、生物、地学などの特定分野にとらわれず、幅広い素養を習得するための科目や課程を開発した学校などが対象。資金は教材購入や外講師を招くための費用と指摘している。

海外戦略担当者にインタビューする計画だ。10月に大学の教室で開く発表会には、大学生や地元住民ら数百人が訪れる予定。同校の高橋康幸教頭は「生徒に受験勉強をさせて大学に送り込めばいい時代は終わった。自ら研究テーマを設定し、主体的に学ぶことの難しさと面白さを伝えていきたい」という。

月末の円ドル相場を予想。大学生から「その予想はおかしい」と指摘され、高校生が返答に詰まる場面もあった。高校3年の渡木優衣さん（18）は「難解な経済学を理解し、整然と意見を述べる大学生に自分も早くなりたかった」と。夏には6班に分かれ、日産自動車やライオン、富士フィルムなど6社を訪問。

『日本経済新聞』でコラボゼミの取り組みが紹介されました！（2013年6月14日付。写真は本校の活動に差し替え。）